

## Point 088

327 Jim's Japanese was not very good, ( ) his speech still impressed the audience.

- ① because ② but ③ so ④ therefore 〈京都産大〉

328 I can't speak French, ( ) can I read it.

- ① but ② also ③ nor ④ although 〈千葉工大〉

329 I was not familiar with the town, ( ) I managed to get to the hotel.

- ① already ② so ③ then ④ yet 〈藤女子大〉

330 彼に仕事をすぐに始めさせましょう。さもないと、5時までに終わることはできないでしょう。

- Let him start the work at once, ( ) he won't be able to finish it by five. 〈大妻女子大〉

331 (a) If you study harder, you will pass the examination.

□□□ (b) Study harder, ( ) you will pass the examination.

- ① and ② or ③ but ④ if 〈朝日大〉

## Point 089

332 喫煙は高くつくし健康に有害だ。

□□□ Smoking is ( ) expensive and bad for your health. 〈駒澤大〉

333 He is not a scholar ( ) a writer.

□□□ ① and ② also ③ but ④ than 〈岐阜聖徳学園大〉

334 This book is not only more instructive ( ) more interesting than that book.

- ① that ② or ③ nor ④ but 〈関東学院大〉

335 To get to the sports arena, you can take ( ) the bus or the train.

- ① either ② neither ③ both ④ nor 〈東海大〉

## Point 088 : 等位接続詞

等位接続詞には、and / but / or の他に、so 「それで」、yet 「しかしながら」、nor 「また…しない」や、前述の事柄に対して付加的な理由を表す for 「というの…だから」などがある。なお、接続詞の問題は、文意から選ぶものが多いので、問題の英文の正確な内容把握が鍵となる。

- 327 逆接の **but**—文意から判断 基本
- 328 **nor** 「また…しない」の用法 標準  
 ▶ **nor** は、否定文または否定的内容の文を受けて、次の文内容を否定する接続詞。**nor** の後に文が来る場合は、本問のように倒置形(疑問文と同じ語順)になる(→470)。  
 ▶① but は、次に倒置形が来ているので不可。
- 329 逆接の **yet** 「しかしながら／それでも」 標準  
 ▶文意から判断して、接続詞用法の **yet** を入れる。
- 330 命令文 ..., **or** ~ 「…しなさい、さもないと～／…しなければ～」 基本  
 +プラス この表現は **If ... not ...** を用いた以下の英文との言いかえでもよく問われる。  
*If you don't let him start the work at once, he won't be able to finish it by five.*
- 331 命令文 ..., **and** ~ 「…しなさい、そうすれば～／…すれば～」 基本

## Point 089 : 等位接続詞を用いた相関的表現

以下の表現のAとBには、原則として文法的に対等な表現が来る。

- 332 **both A and B** 「AもBも」 基本
- 333 **not A but B** 「AではなくB」 基本
- 334 **not only A but (also) B** 「AだけでなくBもまた」 基本
- 335 **either A or B** 「AかBかどちらか」 基本

- 327 ジムの日本語はあまり上手ではなかったが、それでも彼のスピーチは聴衆に感銘を与えた。
- 328 私はフランス語を話せませんし、読むこともできません。
- 329 なじみのある町ではなかったが、どうにかホテルに着いた。
- 331 (a) もっと一生懸命勉強すれば、あなたは試験に合格するだろう。  
 (b) もっと一生懸命勉強しなさい、そうすればあなたは試験に合格するだろう。
- 333 彼は学者ではなく、作家です。
- 334 この本は、あの本よりもためになるだけでなくおもしろい。
- 335 スポーツアリーナに行くにはバスか電車のどちらでも利用できますよ。

- 327 ② 328 ③ 329 ④ 330 or [otherwise] 331 ① 332 both 333 ③ 334 ④  
 335 ①

336 ( ) my father nor my brother smokes.

□□□ ① Either ② Both ③ Neither ④ Not only

〈芝浦工大〉

## Point 090

337 Do you have to eat the whole of a bad egg to know ( ) it is bad?

□□□ ① when ② that ③ what ④ which

〈中部大〉

338 I could not believe the fact ( ) California used to belong to Mexico.

□□□ ① why ② how ③ that ④ which

〈日本女子大〉

339 I doubt ( ) we'll finish in time for Christmas.

□□□ ① how ② if ③ when ④ why

〈中部大〉

340 ( ) you should stop smoking is the biggest decision you have to make.

□□□ ① If ② Unless ③ While ④ Whether

〈学習院女子大〉

### 考え方

### 名詞節を導く接続詞 that と関係代名詞 what

いずれも名詞節を作るが、that は接続詞なので以下に完結した文が来るのに対し、what は節内で名詞の働きをしなければならないから(⇒Point 081)、what を除いてしまうと節内に名詞表現が欠けることになる。完結した文なら that、名詞表現が欠けていれば what である。

- (a) My parents know ( ) I want this book.  
(私の両親は私がこの本を欲しがっていることを知っている)
- (b) My parents know ( ) I want.  
(私の両親は私が欲しいものを知っている)

\* (a)は空所の後に完結した文が来ているので接続詞 that が入り、(b)は節内に want の目的語が欠落しているので what が入る。節内では、what は want の目的語になっている。

336 父も兄もタバコを吸いません。

337 腐っていることを知るために、腐った卵を全部食べる必要があるのかい？

338 私はかつてカリフォルニアがメキシコ領だったという事実を信じるができなかった。

339 私たちがクリスマスに間に合うように終わらせられるかどうか、私には疑わしい。

340 タバコをやめるべきかどうかは、あなたが下さなければならない最大の決断です。

336 **neither A nor B** 「AもBも…ない」

基本

▶問題 332 ~ 336 の表現が主語の場合の動詞の形は、p.157【整理39】を参照。

## Point 090 : 名詞節を導く接続詞 that / if / whether

名詞節を導く接続詞 that と関係代名詞 what の違いは、左頁の「考え方」で正確に理解しておこう。

337 名詞節を導く接続詞 **that** 「…する(という)こと」

基本

▶接続詞 **that** には、名詞節を作り、文中で主語・目的語・補語となる用法がある。ただし、原則として前置詞の目的語にはならない。本問では know の目的語となる名詞節を作っている。

▶空所の後には完結した文が来ているので、③ what は不可(→左頁の「考え方」)。

338 同格の名詞節を導く接続詞 **that—A that** 節 「…というA」

標準

▶接続詞 **that** が導く名詞節は、名詞の後に置かれて、その具体的内容を表す場合がある。この場合、同格の名詞節という。**A that** 節で「…というA」と訳すのが原則。

▶④ which は不可。関係代名詞は節内で名詞の役割を果たすが、本問の空所の後には完結した文が来ており、関係代名詞が果たす役割がない。

339 動詞の目的語となる名詞節を導く接続詞 **if** 「…かどうか」

基本

▶接続詞 **whether** と **if** には「…かどうか」の意味を表す名詞節を導く用法がある。

▶ただし **whether** 節が主語・目的語・補語・前置詞の目的語になるのに対し、**if** 節は動詞の目的語と形式主語 **it** をたてた場合の真主語としてしか用いられない(→340)。

▶本問は、動詞 **doubt** の目的語となる名詞節なので② **if** が使える。選択肢に **whether** があれば、それも可。

340 文の主語となる名詞節を導く **whether** 「…かどうか」—**if** は不可

標準

▶文の主語となる名詞節なので、**if** は不可(→339)。

▶+プラス 形式主語 **it** をたてた以下のような英文なら、**if** が使われることもある。

*It is questionable if [whether] the story is true.*

(その話が本当かどうか疑わしい)

## Point 091

341 He is a good writer ( ) he has an elegant style.

□□□

- ① that ② in which ③ if that ④ in that

〈松山大〉

## Point 092

342 Let me know at once ( ) you have finished it.

□□□

- ① when ② until ③ for ④ so that

〈中京大〉

343 I haven't seen Rich ( ) he returned from New Zealand.

□□□

- ① as ② since ③ when ④ until

〈東海大〉

344 It's been ages ( ).

□□□

- ① since I last played tennis ② that I haven't played tennis  
③ after I didn't play tennis ④ that I don't play tennis

〈名古屋工大〉

345 You had better write it down ( ) you forget it.

□□□

- ① after ② before ③ whether ④ while

〈京都学園大〉

346 私はまもなく彼に追いつくでしょう。

□□□

It ( with him / before / be / won't / catch / I / up / long ).

〈東京家政大〉

347 ( ) I met John, he was still a college student.

□□□

- ① At first ② For the first time  
③ In the first ④ The first time

〈聖学院大〉

341 優雅な文体を持っているという点で、彼は優れた作家だ。

342 それを終えたときには、すぐに私に知らせてください。

343 リッチがニュージーランドから戻って以来、私は彼に会っていない。

344 この前テニスをしてから、ずいぶん久しい。

345 忘れないうちに、それを書きとめておいた方がいいよ。

347 私がジョンに初めて会ったとき、彼はまだ大学生でした。

## Point 091 ∴ in that ...「…する点で」と except that ...「…することを除いて」

- 341 **in that ...** 「…する点で／…する点で」 標準  
 ▶原則として **that** 節は前置詞の目的語とならない(⇒337)が、**in that ...**「…する点で／…する点で」と、**except that ...**「…することを除いて」の形がある。**in that, except that** で1つの接続詞と考えるとよい。

**＋プラス** **except that** の用例は以下を参照。

I know nothing about him **except that** he is a doctor.

(彼が医者だということを除けば、彼について私は何も知らない)

## Point 092 ∴ 時の副詞節を導く接続詞

- 342 **when ...** 「…するとき」一文意から判断 基本

- 343 **since ...** 「…して以来」一文意から判断 基本

**!!注意** 本問の haven't seen のように、主節には完了時制が用いられることが多い。

- 344 **It is [has been] ... since ~** 「～してから…になる」 基本

▶Point 011 参照。ages という複数形で「長い間」の意味。

- 345 **before ...** 「…しないうちに」一文意から判断 読解 基本

▶**before** は、「…する前に」の意味を表す接続詞だが、文脈によっては「…しないうちに」と否定的に訳した方がよい場合がある。

**!!注意** これはあくまでも訳の問題であり、before 以下を否定形にする必要はない。この点は正誤問題でも問われるので注意。

- 346 **It won't be long before ...** 「まもなく…するだろう」 標準

▶**It will not be long before ...** 「まもなく…するだろう(←するまで長くはかからないだろう)」はよく用いられる表現。**before** 節は時の副詞節なので、未来のことでも現在時制を用いる(⇒19)。

▶**It is + 時間 + before ...** 「…するまで～の時間がかかる」が基本の形。以下のような形もある。

*It was a month before he got well.* (彼が回復するまで1か月かかった)

- 347 **the first time ...** 「初めて…するとき」 標準

▶**the first time** は接続詞として「初めて…するとき」の意味を表す。

▶① At first 「最初は」(⇒703)、② For the first time 「初めて」(⇒703)は副詞句。

**＋プラス** time を用いた、接続詞の役割を果たす表現として **next time** 「今度…するとき」、**every [each] time** 「…するときはいつでも」を押さえておこう。

**348** There won't be any train service ( ) this terrible snowstorm is over.

□□□

- ① by the time ② while ③ since ④ until (法政大)

**349** ( ) you are fifty, the world will have greatly changed.

□□□

- ① Until ② Since ③ By the time ④ While (横浜市立大)

**350** She said no every time, ( ) at the last moment she suddenly agreed to take us.

□□□

- ① until ② by ③ during ④ where (垂細亜大)

**351** 人は病気になって、初めて健康のありがたさがわかるものです。

□□□

You cannot ( of / health / appreciate / until / the importance ) you are ill. (九州産大)

## Point 093

**352** I left the house ( ) I heard the news.

□□□

- ① as soon as ② during ③ until ④ while (早稲田大)

**353** (a) I had hardly left the building when I was asked some questions by a police officer.

□□□

(b) The ( ) I left the building, I was asked some questions by a police officer.

- ① instance ② moment ③ time ④ sooner (駒澤大)

**354** 君が出て行けと言え、すぐに出て行くよ。

□□□

I will go away ( directly / me / tell / to / you ). (東京理大)

348 この激しい吹雪が収まるまで列車の運行はないでしょう。

349 あなたが50歳になるまでには、世界は大きく変わっているでしょう。

350 彼女はいつも嫌だと言っていたが、最後の最後に、突然私たちを連れていくことに同意した。

352 私はその知らせを聞くとすぐに、その家を離れた。

353 (a) (b) 建物を出たとたん一人の警察官にいくつか職務質問をされた。

- 348 **until [till]** と **by the time** の違い 標準
- ▶ 接続詞 **until [till]** は、「…するまでずっと」の意味で主節動詞の継続した状態・動作の終了の時点を表す。
  - ▶ 接続詞 **by the time** は「…するまでには」の意味で主節動詞の行為の完了の期限を表す。
  - ▶ 日本語の訳の違いだけでも十分に判断できるが、本問は「吹雪が収まるまで列車の運行はない」のだから④ **until** が入る。
- 349 **by the time ...** 「…するまでには」 標準
- ▶ 「50歳になるまでには」の意味だから③ **By the time** が入る (→ 348)。
- 350 **, until [till] ...** 「そしてついに…」 標準
- ▶ **until [till]** は、通例カンマの後に置いて、「そしてついに…」の意味で用いられることがある。
  - ▶ 本問のように、直後に **at the last moment** 「いよいよというときに」や **at last** 「ついに」を伴うことが多い。
- 351 **not ... until** ~ 「～して初めて…する」 読解 標準
- ▶ **not ... until [till]** ~ の形で「～して初めて…する」と訳されることがある。これは訳し方の問題で、「～するまで…しない」と文意をとっても可。本問の日本語訳も、「病気になるまで健康のありがたさがわからない」と表現することができる。

### Point 093 : 「…するとすぐに」の表現

- 352 **as soon as ...** 「…するとすぐに」— 文意から判断 基本
- 353 **the moment ...** 「…するとすぐに」 標準
- ▶ **the moment** は接続詞として用いられることがある (→ 【整理32】)。
- 354 **directly ...** 「…するとすぐに」 標準
- ▶ **directly** を接続詞として使う (→ 【整理32】)。この使い方はイギリス用法。
  - ▶ 文尾の **to** は **to go away** の意味を表す代不定詞 (→ 119)。

#### 整理 32

### 接続詞 the moment など

接続詞として、**as soon as** と同様の意味・用法を持つものとして、以下がある。いずれも「…するとすぐに」の意味。正確に押さえること。

**the moment, the instant, the minute, immediately, directly**

- 348 ④ 349 ③ 350 ① 351 appreciate the importance of health until 352 ①  
353 ② 354 directly you tell me to



355 I had no sooner uttered the words ( ) I regretted them.

- ① that ② than ③ if ④ as 〈佛教大〉

356 ( ) he entered the room when they stopped laughing.

- ① Hardly had ② Had hardly ③ On having ④ Having had 〈松山大〉

## Point 094

357 Let's try to do our best, ( ) we can expect no help from anyone else.

- ① since ② unless ③ that ④ what 〈桃山学院大〉

358 I hardly recognized you, ( ) you've changed so much.

- ① because ② that ③ even if ④ although 〈湘南工科大〉

359 A man is not great ( ) he knows many things.

- ① for ② as ③ because ④ since 〈実践女子大〉

## Point 095

360 ( ) you sow at the right time, you cannot expect a rich harvest.

- ① Whenever ② If ③ Unless ④ Wherever 〈西南学院大〉

### 整理 33

### ... no sooner ... than ～など

「…するとすぐに～」の意味を表す相関表現は、以下のように整理して押さえておく。

- (1) ... **no sooner ... than** ~  
 (2) ... ( **hardly** / **scarcely** ) ... ( **when** / **before** ) ~

\* 主節動詞(...)に過去完了形、従節動詞(～)に過去形を用いて、過去の内容を表すことが多い。

\* **no sooner**, **hardly**, **scarcely** は否定語だから、文頭に来ると主語と動詞は倒置形になる。(この点は「第14章 疑問文と語順」で詳しく扱う)

355 その言葉を口にすると、私はすぐに後悔した。

356 彼が部屋に入ったとたん、彼らは笑いをやめた。

357 私たちは他の誰からも援助を期待できないのだから、最善を尽くすように努力しよう。

358 ほとんどあなただとはわからなかった。というのも、ずいぶんと変わってしまっていたから。

- 355 ... **no sooner ... than** ~ 「…するとすぐに～」 標準  
 ▶用法や注意すべき点は、左頁の【整理33】を参照。
- 356 **Hardly[Scarcely] had S done ... when** ~ 「…するとすぐに～」 標準  
 ▶... **hardly[scarcely] ... when[before]** ~の **hardly** が文頭に来た形を作る。なお **Hardly** が文頭に来る場合は、後は過去完了の倒置形になることに注意(→左頁の【整理33】)。

### Point 094 : 理由の副詞節を導く接続詞

- 357 理由を表す接続詞 **since** 基本  
 ▶**since** には「…して以来」(→343)という意味以外に、理由「…だから」を表す用法がある。
- 358 理由を表す接続詞 **because** 基本
- 359 **not ... because** ~ 「～だからといって…でない」 標準  
 ▶**not ... because** ~の形で「～だからといって…でない」という意味を表す。この意味では **because** の前にカンマを置かない。  
 ▶① for, ② as, ④ since はいずれも理由を表す接続詞だが、本問では不可。「人は偉大でない、なぜならたくさんのことを知っているから」というありえない意味になる。  
 +プラス **not ... because** ~の形で「…でない。なぜなら～だからだ/～だから…でない」の意味になることもある。  
 +プラス **because / since / as** の節は、原則として主節の前にも、主節の後にも置くことができるが、**for** は等位接続詞であり、主節の後にしか置くことができない。For S+V..., S'+V' ~の形はない。

### Point 095 : 条件を表す副詞節を導く接続詞

- 360 **unless ...** 「…しない限り」一文意から判断 標準  
 ▶**unless** は、「…しない限り」の意味を持つ接続詞で、通例、if ... not ... に置きかえられる。  
 !!注意 **unless** は条件の締めつけが強く、逆にすべての **if ... not ...** が **unless** に置きかえられるわけではない。**unless** の方が使用範囲が狭いので、選択肢に if ... not ... と **unless** が並んでいれば if ... not ... の形を選ぶのが無難。

359 人は、たくさんのことを知っているからといって偉いわけではない。

360 適切な時期に種をまかなければ、豊かな収穫は見込めない。

361 I will forgive him ( ) he acknowledges his mistakes.

- ① provided ② otherwise  
③ nevertheless ④ however (青山学院大)

362 I'll lend you the money ( ) condition that you return it within six months.

- ① with ② for ③ in ④ on (玉川大)

363 She behaves ( ) she were a queen.

- ① although ② because ③ so that ④ as if (和洋女子大)

## Point 096

364 ( ) he has lived in Japan for some time, he cannot speak Japanese very well.

- ① Although ② Even ③ However ④ Nevertheless (駿河台大)

365 ( ) it rains tomorrow, the music festival will take place as planned.

- ① Although ② Even if ③ During ④ Because (甲南大)

366 Dark ( ) it was, we found our way back.

- ① as ② if ③ that ④ while (中部大)

367 You must go there with your parents, ( ) you like it or not.

- ① when ② though ③ whether ④ as (名城大)

361 彼が間違いを認めれば、私は彼を許しましょう。

362 6か月以内に返すという条件で、君にお金を貸しましょう。

363 彼女はまるで女王であるかのように振る舞う。

364 彼は、かなりの間日本に住んでいるけれども、日本語をあまりうまく話せない。

365 明日たとえ雨が降っても、音楽祭は予定通り行われます。

366 暗かったけれども、私たちはなんとか帰ることができた。

367 皆さんは好むと好まざるとにかかわらず、ご両親とそこに行かなければなりません。

## 361 provided (that) ... 「もし…ならば」

標準

整理 34

## 動詞から派生した条件節を導く表現

以下はいずれも **if** 「もし…ならば」の意味を表す。**provided (that), providing (that), supposing (that), suppose (that)**!! 注意 **supposed (that)** の形はない。ダミーの選択肢に使われることがあるので注意。

## 362 on condition that ... 「…という条件で／…ならば」

標準

▶ **on condition that** も、**if** で置きかえられる場合が多い。

## 363 as if ... 「まるで…するように」

標準

▶ 空所の後には仮定法過去の英文が来ている (▶ 91)。

▶ **as though** も同意表現である。

## Point 096 : 譲歩の副詞節を導く接続詞

## 364 although ... 「…だけれども」

標準

▶ 譲歩を表す接続詞 **although** 「…だけれども」を入れる。**though** と同意。

## 365 even if ... 「たとえ…でも」

読解 標準

**+プラス** ほぼ同意の表現として **even though** も押さえておこう。even if が「事実はどうであれ」といったニュアンスが強いのに対し、even though は過去や現在の「事実」に関して使う傾向がある。なお、**if** だけでも「たとえ…でも」という譲歩の意味を表すことがある。

## 366 形容詞 + as + S + V... の譲歩表現

標準

▶ 形容詞／副詞／無冠詞名詞 + **as + S + V...** の形で「…だけれども」という譲歩の意味を表す。**as** の代わりに **though** を用いることもあるので注意。

!! 注意 無冠詞名詞の例は入試ではまだ出題されているが、現代英語ではほとんど使われていない。

**+プラス** **as** を用いた上記の形で「…なので」という理由の意味で用いられることがある。

Good as Tom is, he is loved by his classmates.

(トムはよい人なので、級友に好かれている)

## 367 whether ... or ~ 「…であろうが～であろうが」

標準

▶ **whether** は、通例 **whether ... or ~** の形で用いて「…であろうが～であろうが」の意味を表す副詞節を導く用法がある。本問のように **whether ... or not** の形で用いることも多い。▶ 名詞節を導く **whether** は問題 339, 340 参照。

## Point 097

368 The soup was ( ) hot that I almost burned my tongue.

□□□

- ① such ② much ③ very ④ so

〈芝浦工大〉

369 It was ( ) a terrible day that we decided not to go.

□□□

- ① very ② so ③ specially ④ such

〈拓殖大〉

370 ( ) was the professor's pride that she could not ignore the insult.

□□□

- ① So ② Such ③ Small ④ Little

〈摂南大〉

## Point 098

371 (a) I got up at five that morning so as to catch the first train.

□□□

- (b) I got up at five that morning ( ) ( ) I could catch the first train.

〈徳島文理大〉

372 中に何が入っているのか、私にわかるようにバッグを開けてください。

□□□

Please open up your bag ( can / have / I / so / you / see / what ) in it.

〈近畿大〉

368 スープはとても熱くて舌をやけどするところだった。

369 最悪の日だったので、私たちは行かないことに決めた。

370 教授の自尊心は非常に強かったので、彼女はその侮辱を無視することができなかった。

371 (a) (b) 始発列車に乗るために、その日の朝は5時に起きた。

## Point 097 : 結果・程度を表す接続詞

368 **so ... that** ~ 構文「とても…なので〜/〜するほど…」 読解 基本

▶① such が不可の理由は次問を参照。

**+プラス** so ... that ~ の that の前が否定表現なら、「〜するほど…でない」と訳し上げるのがよい。

He was *not so tired that* he could not walk.  
(彼は歩けないほど疲れてはいなかった)

**+プラス** so の後は形容詞・副詞が来る。名詞を伴うときは「so+形容詞+a+名詞」の語順になる(⇒Point 120)。

369 **such ... that** ~ 構文「とても…なので〜/〜するほど…」 標準

▶ **such ... that** ~ 構文も文意は so ... that ~ 構文と同じ。ただし、「such + (a) + (形容詞) + 名詞」の形をとる。

▶② so は、a terrible day の語順につながらない。terrible a day であれば、so が入り such が不可になる(⇒368)。

370 **S is such that ...** → **Such is S that ...** 発展

▶ **S is such that ...** の形で「Sは大変なものなので…/Sは…するほどのものだ」の意味を表す。S is so great that ... とほぼ同意。

▶ **S is such that ...** は **Such is S that ...** の倒置形になることも多く、本問はその形。

## Point 098 : 目的を表す接続詞

371 **so that S can ...** 「…するために」 標準

▶ **so that S can [will / may] ... / in order that S can [will / may] ...** で、「…するために」という「目的」を表す副詞節を導く用法がある。

**!!注意** 助動詞を否定形にすれば、「…しないために」の意味になるが、その場合 can / could は避けられることが多い。

**+プラス** **so that** の前に通例カンマを置いて、「それで、その結果」という「結果」を表す用法もある。この場合、原則として助動詞は用いられない。

He overslept, *so that* he missed the first train.  
(彼は寝過ごしたため、始発列車に乗り遅れた)

372 **so S can ...** 「…するために」 発展

▶ **so that S can (⇒371)** は、**that** を省略して、**so S can ...** の形で口語的に用いられることがある。この場合は助動詞に can を用いるのが一般的。

**+プラス** 逆に、**so that** の so を省略して、**that S may ...** の形で用いられる場合もあるが、これはかなり文語的表現。この場合は may を用いることが多い。

**373** また失敗するといけないから、彼は一生懸命勉強した。  
 He worked hard for ( ) he should fail again. 〈立命館大〉

**374** I don't think it'll rain, but I'll take an umbrella ( ) it does.  
 ① as if ② even though ③ in case ④ now that 〈関東学院大〉

## Point 099

**375** 一度決心したからには、途中でやめるつもりはない。  
 (I've / that / now / made up / my mind), I have no intention of giving up on the way. 〈愛知工大〉

**376** ( ) you learn the basic rules of the game, I'm sure you'll enjoy it a lot.  
 ① Although ② While ③ Once ④ Therefore 〈東京造形大〉

## Point 100

**377** As ( ) as I know, all wild animals keep themselves clean.  
 ① far ② long ③ possible ④ well 〈甲南大〉

**378** We agreed to buy my daughter a dog ( ) she takes it for a walk every day.  
 ① while ② otherwise ③ unless ④ as long as 〈成蹊大〉

- 374 雨は降らないと思うけれど、降るといけないから傘を持っていきます。  
 376 いったんゲームの基本的なルールを身につけてしまえば、あなたはきっとそのゲームを大いに楽しめるでしょう。  
 377 私の知る限り、すべての野生動物はいつも体をきれいにしています。  
 378 毎日散歩に連れていくことを条件に、私たちは娘に犬を買ってあげることが承諾した。

- 373 **for fear (that) ...** 「…しないように／…する場合に備えて」 **標準**  
 ▶ **for fear (that) S should [might / would / will] ...** は、「…しないように／…する場合に備えて」という意味。  
**+プラス** **lest S (should) do ...** が同意表現だが、こちらは文語的表現。
- 374 **in case S+V...** 「…する場合に備えて」 **英作 標準**  
 ▶ 文尾の does は rains のくり返しを避けたもので、代動詞と呼ばれる。  
**!!注意** **in case S+V...** は、「…する場合に備えて」という意味を表す点では、for fear (that) ... (→ 373) と同じだが、「…しないように」の意味にはならない。  
**!!注意** **in case** の節内に **should** を用いることもあるが、**will / would / might** は用いない。  
**+プラス** **in case S+V...** で「もし…なら」という if と同じ意味を表す用法(アメリカ用法)があることも押さえておこう。  
 What shall we do *in case* it rains?  
 (もし雨が降ったら、どうしましょうか)

### Point 099 ； 接続詞として用いる now (that) と once

- 375 **now (that) ...** 「今やもう…だから」 **標準**  
 ▶ **make up one's mind** 「決心する」は重要イディオム(→ 781)。  
**!!注意** 接続詞 **now that** の **that** は省略可能。
- 376 **once ...** 「ひとたび…すると／いったん…するからには」 **標準**  
**!!注意** **now that** との類推からか、**once that** も可能と考えている人が多いが、**once** には **that** を従える形はない点に注意。

### Point 100 ； 接続詞 as [so] far as と as [so] long as

接続詞 **as [so] far as** は「…する限り(では)」という意味で範囲・制限を表すが、**as [so] long as** は時・条件を表し、「…する限り／…する間(=while), …しさえすれば(=if only)」の意味となる。

日本語では区別がつかない場合が多いので、表す内容が「範囲・制限」なのか「時・条件」なのかを確実にとらえること。

それでも判断がつかなければ、**while** または **if (only)** に置きかえられれば **as [so] long as**, 置きかえられなければ **as [so] far as** と考える。

- 377 **as [so] far as** と **as [so] long as** の違い **標準**  
 ▶ 本問は範囲・制限を表すので **as far as** の形にする。**while** や **if (only)** には置きかえられない。
- 378 **as [so] long as ...** 「…しさえすれば／…する条件で」 **標準**  
 ▶ 条件を表す **as long as** を用いる。



## Point 101

379 The train is out of service ( ) the rail construction is going on.  
□□□

- ① with ② while ③ after ④ during (玉川大)

380 Some people say that the Internet is a passing fashion, ( ) others believe it is a turning point in human history.  
□□□

- ① during ② while ③ judging from ④ considering (国立看護大学校)

381 ( ) I sympathize with you in your situation, I can't help you.  
□□□

- ① While ② Whether ③ Whichever ④ Since (佛教大)

## Point 102

382 ( ) we went up the mountain, the air became thinner.  
□□□

- ① As ② During ③ When ④ Since (成城大)

383 Do in Rome ( ) the Romans do.  
□□□

- ① where ② while ③ as ④ according to (中京大)

384 Don't touch my writing-table; leave it ( ) it is.  
□□□

- ① when ② if ③ that ④ as (中央大)

385 メアリーは、多くの少女と同じように彼女を見た。

□□□ Mary ( way / her / at / looked / the ) a lot of girls did. (大阪大谷大)

379 レールの工事が続いている間、列車は運行を休止している。

380 インターネットは一時的な流行であると言う人たちがいる一方で、それが人類の歴史における転換点であると信じている人たちもいる。

381 あなたの境遇は気の毒に思いますけれども、私はあなたを助けることはできません。

382 山に登っていくにつれて、空気はますます薄くなってきた。

383 郷に入りては郷に従え。〈ことわざ〉(←ローマでは、ローマ人がするようにしなさい)

384 私の書き物テーブルには触らないで。そのままにしておいてくれ。

## Point 101 : 接続詞 while の用法

接続詞 while には、時「…する間」、対比「～、一方…」、譲歩「…だけれども」を表す用法がある。

- 379 時の **while** ... 「…する間」 基本  
 ▶④ during 「…の間」は前置詞。後に「S+V...」は来ない。
- 380 対比の **while** ... 「～、一方…」 標準
- 381 譲歩の **while** ... 「…だけれども」 標準  
 ▶譲歩を表す while 節は、本問のように主節の前に置かれることが多い。  
 +プラス while 同様、対比・譲歩を表す接続詞として **whereas** も押さえておこう。本問および前問は、選択肢に **whereas** があればそれも正解になる。

## Point 102 : 接続詞 as の用法

- 382 比例の **as** ... 「…するにつれて」 標準
- 383 様態の **as** ... 「…するように」 標準  
 +プラス **as you please** [like] 「好きなように」といった成句的表現でも用いられる。
- 384 **as+S+be** 動詞 「そのままに／あるがままに」 標準  
 ▶様態の as の用法の一つ。通例、文尾や目的語の後で用いられ、**as+S+be** 動詞 「そのままに／あるがままに」の意味になる。  
 ▶本問は、単数形の名詞 **my writing-table** を受けるので **as it is** となっている。
- 385 様態の **the way** ... 「…するように」 標準  
 ▶様態の **the way** ... 「…するように」は、様態の as の同意表現と考えてよい。  
 ▶文尾の **did** は **looked at her** のくり返しを避けた代動詞。  
 +プラス **the way** には「…するやり方」の意味もある(⇒288, 289)。

## 整理 35

## 接続詞 as のまとめ

接続詞 as には多様な意味がある。ここでまとめておこう。

- (1) 理由 「…するので」
- (2) 時 「…するとき」
- (3) 比例 「…するにつれて」(⇒382)
- (4) 様態 「…するように」(⇒383)
- (5) 譲歩 「…するけれども」(形容詞／副詞／無冠詞名詞+as S+V...の形で)(⇒366)